

暮れの大掃除は進んでいますか？

暮れの大掃除はお早めに！

今年も残り少なくなりました。12月といえば大掃除、新年を迎えるための古くから伝えられてきた年中行事の一つです。計画を立てて、すでに始められたお宅もあるでしょうか。大掃除の定番は窓掃除や外壁のすす払い、台所の換気扇やガスレンジ回りといったところでしょう。

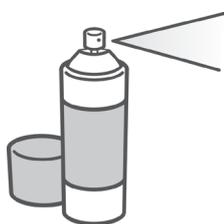
最近では、掃除用具も充実して手軽にできることから、年末だからといって改めて大掃除をするお宅が減ってきているかもしれません。

では、不用品の片付けはどうでしょう。毎年暮れの押し迫った28日前後は、クリーンセンターへ不用品を持ち込まれる車の台数が大変多くなっています。昨年の家庭ごみの搬入台数は年末最終日が513台、前日でも362台であり、平日の2倍～3倍に増加しています。そのため、クリーンセンターは大変な混雑となりました。待ち時間も長くなりますので、時間を有効に使うためには、早めの取り掛かりが大切です。

また、早めに片付けを始めることは時間の余裕もできるので、我が家で不要となった物でもお友だちや知人に差し上げることができ、有効活用されて廃棄せずに済むものがあるかもしれません。年内に物置や納戸の片付けを考えている方、明日に延ばさず、今日から少しずつ始めてみてはいかがでしょうか。



卓上コンロのガスボンベは中身を使い切りましょう！



寒い季節の食卓はなべ物の回数も増えますが、卓上コンロのガスボンベは使い切ってから廃棄していますか？ ガスが少なくなると火力が弱くなったりするため、使い切らないうちに新しいガスボンベに交換してしまうことはありませんか？ 少しだけ中身が残ったガスボンベは、当然のようにごみとして捨てられます。そして、そのガスボンベが、火災を引き起こすこともあるということを考えたことはあるでしょうか。

昨年の暮れには、ごみ収集車から出火し、もう少しで大惨事となるところでした。ライター、スプレー、卓上用ガスボンベなどには、火災の原因となる可燃性ガスが使われています。火災の防止と安全な収集作業のため、中身を使い切ってから廃棄するよう、皆様のご協力をお願いします。ごみとして出した後のことも考えてルールを守って出しましょう。

ごみの出し方で問い合わせの多いものの中に、消費期限の切れてしまったガスボンベや古くなった灯油などが挙げられます。いずれもこの時期に多く使用されるものですが、それらの燃料は牛久クリーンセンターで処分ができませんので、まとめ買いをせずに、使い切れるだけ購入することをお勧めします。

生ごみたい肥化モデル事業開始のお知らせです！

市では資源の有効利用を目的に、刈谷地区のご協力をいただき、生ごみたい肥化事業を行います。生ごみをたい肥にするためには、家庭での分別がとても重要となります。

刈谷地区の皆さんのひと手間で、生ごみを資源化することにより、循環型社会の構築と焼却施設の延命に繋がりますので、生ごみの収集分別にご理解とご協力をお願いします。

